



| しばれる夜を暖かな光とともに楽しむ



2月9日(土)、占冠・村づくり観光協会主催の『アイスクャンドルナイト～占冠極寒しばれ祭り2019～』が、道の駅自然体感しむかっぶで開催されました。

午後4時半より、約500個のアイスクャンドルに、順に火が灯され、会場は暖かな光で包まれました。

アイスクャンドルコンテストには、大人の部で11点、子どもの部で8点の応募がありました。大人の部では、日高町在住の方が製作した『菜の花地蔵』が、子どもの部では村在住の小瀬綺乃さんが製作した『きいろの氷だるま』がそれぞれ最優秀賞に輝きました。

アイスクャンドル以外にも、チューブ滑り台、村民餅つき大会、雪上ファットバイク、スノースケート体験などの様々な企画が用意されました。

当日の会場の気温は、午後7時の時点で-18度を記録。来場者は、極寒な占冠村ならではのしばれた夜と、アイスクャンドルによる暖かな光の空間を楽しみました。

| アイスクャンドルナイトの会場づくり



『アイスクャンドルナイト～占冠極寒しばれ祭り2019～』では、会場設営などの作業で、(株)川端組様のご協力をいただきました。

(株)川端組様には、毎年会場の設営などにご協力いただいています。

おかげさまで、今年の『アイスクャンドルナイト～占冠極寒しばれ祭り2019～』も無事終了することができました。

ご協力に心より感謝申し上げます。

| やっぱり鬼は怖いよね



2月1日(金)、『占冠保育所豆まき会』が、占冠保育所で開催されました。

節分は豆まきをして「鬼(邪気)」を払い、1年の無病息災を願う日です。豆まきは、「鬼の目(魔目=まめ)」を目がけて豆を投げれば、「魔が滅する(魔滅=まめ)」という語呂合わせから、節分の風習として浸透したと伝えられています。

鬼が保育所に現れると、勇気をもって鬼に豆をぶつける子や泣きながら逃げる子、恐ろしくて隅っこで動けなくなってしまう子など、保育所の会場は大混乱。

勇敢に立ち向かっていった子どもたちの奮闘で、保育所に現れた鬼は無事追い払うことができました。

トナム地区での子育てを考える



2月9日（土）、トナム地区でのより良い子育て環境について考える『第2回トナム地区子育て・保育・教育ワークショップ』が、地域カフェ『ミナ・トナム』で開催され、住民など約20人が参加しました。

昨年11月に開催した第1回のワークショップでは、トナム地区でどのような子育て支援・保育・教育があったら良いか子育て世帯の「思い」の共有などを図りました。

今回開催したワークショップでは、第1回のワークショップを踏まえて、トナム地区の環境を活かした子育ての方法や今後の取組について話し合いました。

ベビーダンス



1月28日（月）、自主創造プログラム『ベビーダンス』が、占冠村保健福祉センター『ノンノ』で開催され、12組の親子が参加しました。

ベビーダンスとは、赤ちゃんを抱っこ紐などを使って抱っこしながらリズムに合わせて踊るエクササイズのこと。赤ちゃんとスキンシップをとりながら気持ちよく汗をかくことができます。

「子どもと一緒に運動できてとても楽しかった」、「子どもがもっと小さいころにやってみたかった」などの感想があり、参加者は非常に満足した様子でした。

最速をめざして



2月10日（日）、第37回占冠ジュニア大回転競技大会が、国設占冠中央スキー場で開催され、幼児から中学生までの35名の選手が出場し、タイムを競いました。

大会結果は以下のとおりです（1位の選手のみ掲載いたします）。

		※敬称略		
幼児の部				
1位	角瀬 玲夏	1:07.86		
小学1・2年女子			小学1・2年男子	
1位	千葉 綾乃	42.34	1位 武石 守生	43.53
小学3・4年女子			小学3・4年男子	
1位	熊崎 莉子	35.74	1位 渡辺 竣介	37.55
小学5・6年女子			小学5・6年男子	
1位	辻澤 花梨	35.00	1位 千葉 綾太	34.94
中学女子			中学男子	
1位	杉岡 春奈	34.08	1位 渡辺 翔輝	33.60